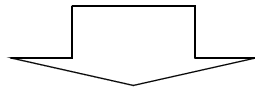


【中学校 数学】

数学 A (知識)	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none">・正負の数の計算をすること。・回転体の構成を理解すること。・対称移動した図形をかくこと。・三角柱の展開図を理解すること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none">・資料を整理した図から，最頻値を読み取ること。・文字の値が整数のときに，式の値について考察すること。・三角形の合同条件を理解すること。・2つの数量の関係が一次関数になることを理解すること。	数学 B (活用)	<p>成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none">・作図の手順を理解し，図形の特徴を的確に捉えること。 <p>課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none">・問題解決の方法を数学的に説明すること。・図形の性質を数量の関係に着目して捉え，数学的に表現すること。・軌道の長さを求める計算を解釈し，数学的に表現すること。・資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。
--------------	--	--------------	--



学校における学習活動の改善方策例

書いて考え，考えて書く活動を積み重ねる。

図や式，言葉を結び付けて説明する活動を積み重ねる。

実生活における資料や他教科の学習から，平均値・中央値・最頻値を求めさせる。

用語の意味と実際の操作を結び付けて理解させるため，言葉で表現しながら図形を操作させる。

示された図に印をつけながら説明させる。

日常生活の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べて，関係性を考えさせる。

図形から伴って変わる数量を見い出させ，関係性を考えさせる。

「だから，である。」の形で的確に数学的な表現を用いて説明させる。

自ら収集した資料を基にグラフや表を作成させ，傾向を読み取らせたり。比較させたりするなど，様々な角度から分析させる。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

自分の考えを数学的な表現を用いてノートに書いてみましょう。

既習した語句について，繰り返し意味を確認しましょう。

日常の事象の中で，数学を活用することで迅速，正確に処理できることはないか考えてみましょう。

問題で示されている図や表に書き込んだり，自分で図を作成したりしながら，問題解決の見通しを立ててみましょう。

